

ピース PIPS

遠賀町起業支援施設
PIPIT機関誌

2018.September

第3号

アナタのカナエルをカタチに

ふるさと
遠賀町で
起業しよう!

やっぱり
遠賀が好き!

●巻頭特集

「U・ターン」して起業するという選択

「U・Iターン」して起業するという選択

「Uターン」と聞くと、今までは「定年後に故郷でゆくり過ごすために戻ってくる」というイメージでしたが、2017年に民間会社が行った調査では、Uターンの平均年齢は37歳とまさに働き盛りの年齢でした。仕事のスキルやキャリアも身につけた頃である一方、都会の暮らしのストレスがたまり、これからの人生をどうデザインしていくかを考えるようになった世代が故郷にUターンしているのです。また、故郷ではないけれど、都市部にはない魅力をその地域に感じて移住してくる「Iターン」という選択をするケースも近年増えてきています。

ところが、内閣の「東京在住者の今後の移住に関する意向調査」では、「働き口が見つかるかどうか」が懸念事項の第1位。民間の調査でも、Uターンを検討の際の、不安事項の上位に「仕事の種類・幅が少ない」、「希望の職種の仕事がない」、「自分のスキルを活かせる仕事がない」などが挙がっています。

しかし、働き口を見つけることだけが選択肢でしょうか。遠賀町に「U・Iターン」をした方の中には、自分のスキルを活かしたり、想いを具現化したりした「U・Iターン起業家」がいます。京都、岡山、長崎など、県外での経験を経て「遠賀町」というキャンパスを選び「起業」という自分色の絵の具を塗る6名の方のお話から、「U・Iターン」して起業するという選択肢について考えてみませんか？



遠賀町にU・Iターン起業をするにあたり、きっかけや決め手になったことは何でしたか？

高橋 高校からカナダへ留学し、帰国後も遠賀を離れていましたが、離れてみて改めて遠賀の土地柄や食材の良さに気づき、戻って起業したいと思いました。

執行 起業なら遠賀でと思っていました。働いていた京都の接骨院で院長をしないかという話が出た時に、妻の後押しで、遠賀に戻っての起業を決意しました。妻は僕の実家で出産するほど、遠賀が気に入っていたんですよ。

有松 遠賀町にはピザ屋がなかったのので、ここでおいしいピザをみんなに食べて欲しいと思ったからです。イベントに出店する移動販売車のとりまための仕事も考えていました。

山縣 県外の会社で働いていましたが、遠賀の同級生からPIPIITのことを教えてもらい、起業を考え帰って来ました。

下池 北九州市の洋菓子店で製造の仕事をしていたのですが、夫の仕事の関係で遠賀町に住むようになりました。

遠賀に家を建てる時に、子育てとの両立を考えて、自宅工房という選択をしました。

村田 前々から「のんびりした田舎のサロン」を開く夢はありましたが、夫の転勤で国内各地をまわっていたので、実現は難しく、落ち着きたいと夫の実家がある遠賀に引越してきたら、遠賀の自然が理想のサロンにぴったりで、開業を決意しました。店名は目の前に広がるれんげ畑からつけました。

高橋 一番はカフェだけで利益が出るのかという点ですね。

有松 移動販売なので、出店場所の確保など、とにかくすべて不安でした。

山縣 技術を売るという特性上、初期投資や在庫リスクはほぼなかったのですが、あまり無い業種なので、価格設定が

起業する際に不安はありましたか？



難しいと感じていました。

執行 地元とはいえ高校までしかいなかったのですが、社会人としての人脈はゼロからのスタートになることと、遠賀町を離れていた間の変化が把握できていなかったことですね。

下池 どうしたら子育てと両立させて洋菓子作りの仕事を続けていけるかなかなか明確にできませんでした。

村田 まだ子どもが小さいので、子育てと仕事の両立ができるかが不安でした。

その不安を抱きつつ起業されたわけですが、遠賀町で起業してよかった点はどんなことでしょうか。

執行 父親が長く遠賀町で自営業を

営んでいたもので、その人脈やお付き合いのあった銀行の方にお世話になりました。自分を知っている人がたくさんいるというのはよかったですね。

山縣 仕事の多くは、商工会や知り合いを介しての依頼なので、地元の人との繋がりにかなり助けられています。

有松 商工会、そしてPIPIITなどを通して素晴らしい人々に出会えました。移動販売車も、町内のヒートウェーブで作られたものです。

高橋 何より「地元の仲間と一緒に仕事ができる。」という楽しさを感じています。離れている間も、SNSで同級生が営む農園やフキ農家、養蜂家など地元の方々の活躍は知っていました。帰って来て、実際に会って、地元の食材を食べて、

「自分の料理に使いたい！」と思い、うちのカフェではそのひとつでもある鴨の卵でテイラミスも提供しています。単価は上がりますが、その美味しさと「ストーリー性」の強さで人気です。

執行 移転当初「遠賀町の人口に対して、どれくらい広告すべきか？」などと考える人はほぼいませんでした。人づてで来てくれた人ばかり。目の前に来ていたの方に精一杯向き合う、最善を尽して施術をさせていただくことが一番だとわかりました。地元の口コミにはものすごい

力があつて、ある意味、都会のSNS以上だと思えます。なので、少しずつ確かな人の繋がりを作るようにしています。

有松 「信頼が信頼を呼ぶ。」というこ

とですよ。うちも口コミのお客さんが多いです。

下池 うちもです。看板を出していませんが、口コミでお店を探して来てくれます。

山縣 よくわかります。私も目の前のお客様を大切に心がけています。

村田 一度気に入ってもらえると、次は家族単位で来てくれたりしますよね。遠賀って「稼ごう」「儲けよう」って人が少ない感じで、信頼関係でやっていく方が多いように思います。

子どもや家庭の事情などでサロンをお休みする時も、クレームも無く、皆さん温かく受け留めてくださいます。

有松 位さん
ピツツエリア カントナータ
岡山県出身。遠賀町にUターンし、平成28年11月にピザの移動販売業を起業。

遠賀町の魅力 すれ違う知らない子どもたちが挨拶してくれる。

下池 里絵さん
gateau soeur (ガトースール)
遠賀町大字老良232番地の1
北九州市からUターンし、平成29年4月に洋菓子製造販売店を開業。

遠賀町の魅力 環境が良く子育てしやすく、新鮮な食材も豊富。

山縣 鉄平さん
ヤマガタデジタルフォロー
遠賀町遠賀川一丁目6番5号 PIPITスモールオフィス
長崎県からUターンし、平成29年12月にIT・デジタルなんでも御用聞き業で起業。

遠賀町の魅力 JR鹿児島本線や国道3号線など、交通の便も良く、住んでみると意外に便利。

執行 貴義さん
しぎよう接骨院
遠賀町浅木一丁目20番10号
京都府からUターンし、平成30年4月に接骨院を開業。

遠賀町の魅力 自然が豊かで、人が優しい。

村田 英恵さん
へあさろん れんげ
遠賀町大字木守161番地の1
夫の転勤で国内各地をまわった後Uターンし、平成27年12月に美容室を開業。

遠賀町の魅力 子育ての大先輩が多く、町の人もとても優しい。

高橋 義和さん
ジモカフェ
遠賀町浅木二丁目9番7号
高校から3年半のカナダ留学を経験し、帰国後は国内各地で働き、平成29年3月にUターンしカフェを開業。

遠賀町の魅力 人がいいのと、町自体が開発途中なので、新しいことを起こしやすい。



下池 皆さん声をかけてくれるから、子育てもしやすいし。子育てしながら、「ゆつくり自分のペースでやれる。」のが遠賀の良さですね。

執行 そういうやり方は、都会では「効率が悪い」「仕事ができない」というカテゴリーに入れられてしまうけれど、それが成り立つのが遠賀町ですよ。

高橋 以前の店では「他店にいかにか勝つか」や「売上第二」だったので、良いものを提供したくても、ゆつくり商品開発もできませんでした。遠賀は競合他社も少ないから、ゆつくり自分が作りたいものを提供していきます。逆に何も無いから、そこに落ちている石ころを自分なりにゆつくりと磨いて宝石にすることができるとは、素晴らしいですね。



P 今後の展望をお聞かせください。

下池 ヒット商品を作るといふよりは、地域の人の希望に沿って提供するスタンスをこれからも続けていきたいです。ですから、誕生日ケーキは年中無休で、できる限り受けています。これも自宅だからできることですよ。地域の人に愛される

て続けていきたいです。

村田 遠賀の60代70代のお客様はお洒落です。「わたしなんて」と思わないでもっと明るくなつてほしいので、「若々しくいつまでも元気で！お洒落で！」と提案していきたいです。

有松 移動販売車に「遠賀」と書いて、PRをしています。去年のビジネスプランコンテストでも発表した遠賀の名物・銘菓となるようなものを作っていきたいですね。

山縣 スマートフォンやパソコンなどで、設定や使い方で悩んでいる方が多いので、これからもその一助になればと思います。また、うまく活用すれば事業所の経費削減や業務効率化につながる便利な方法や進め方などもサポートできればと思います。

執行 手当て（セルフケア法）をお伝えするなど、地域の方が元気になるようなことはもちろん、自分の後に続く人の手助けもしていきたいですね。

高橋 遠賀には原石がいっぱい眠っているんで、どんどん見つけ出して、共感してくれる人たちとゆつくり育みながら、それを町外にアピールしたり、より住みよい町にして、人の流れやお金の流れを創れたらなと考えています。飲食店の枠を超えて新しいものを提供していきたいです。

自分も地域も輝かせる「自分らしい働き方」

皆さんのお話をうかがっていると、「ここ遠賀だからできる自分らしい働き方」というのが、大きなキーワードのようです。その土地土地で「その地域に馴染む起業の在り方」というものがあると思いますが、本日お集まりいただいた皆さんは、ご自身で見つけ出し、地域の中で「自分らしい働き方」を実現して生き生きとされていますね。

U・イターン起業を考えている方々への力強いエールとなったのではないのでしょうか。お集まりいただいた皆さん、どうもありがとうございました。



遠賀町に

U・イターン起業するためのお役立ち情報

○ 起業について

遠賀町起業支援施設PIPIIT 個別起業相談 毎週水・木曜日受付中。交流会や起業支援セミナー、専門家による個別相談も行っています。

<https://pipit-onga.jp/>



○ 遠賀町の情報

遠賀町公式ホームページ 遠賀町定住促進支援制度 支援制度に関する情報、住まいに関する情報、働くことに関する情報、暮らしに関する情報などを紹介しています。

http://www.town.onga.lg.jp/machi_navi/teiju_sokushin/shien.html

http://www.town.onga.lg.jp/machi_navi/teiju_sokushin/shien.html



○ 移住までのステップ

福岡県 移住・定住ポータルサイト 福がおくかくらし

どんな準備をしたらいいのか、移住までのステップが分かりやすくまとめられています。

<https://jiuu-teiju.pref.fukuoka.lg.jp/>



8月10日開催

「LINE@」 セミナー及び個別相談

ICTスクールiClub 代表
ICT教育アドバイザー兼コンサルタント

工藤 洋輔 氏

今や日本で利用者数七千万人を突破したLINE。そのLINEを活用した情報発信アプリ「LINE@」を使った、集客とファンづくりが学べるセミナーを実施いたしました。

また、LINE@を始めたばかりの2名の方が個別相談を受けました。

Pのポイント

- SNSには、FacebookやTwitterのように拡散力が高いオープン型と、LINEのように確認力の高いクローズド型がある。オープン型でターゲット層にアプローチして、興味を持ってもらい、クローズド型で囲い込むと効果的。
- デジタルマーケティングで大切なことは、「お客様の目線に立つ」、「見やすくわかりやすい情報」、「継続的に発信する」の三原則を意識しながら、フォロワーにとって有意義な情報を継続的で適度な発信をすること。



詳しくは…



3月1日開催

「顧客となる第三者に評価される 組織の作り方」 セミナー及び個別相談

一般財団法人非営利組織評価センター 業務執行理事
特定非営利活動法人きょうとNPOセンター 常務理事・統括責任者

平尾 剛之 氏

株式会社やNPO法人などのさまざまな法人において、事業を継続していくために信用を得ることは重要です。そこで、信用を得る手段の一つである第三者が行う評価方法と、信頼される組織づくり・組織運営について学ぶセミナーを実施しました。

また、組織設立を目指している2名の方が、個別相談を受けました。



Pのポイント

- 組織の信頼性とは、事業の目的や効果が明確で、適切な管理運営能力のもと継続していく力があること。
- 適切な組織運営とは、組織的な意思決定といったガバナンスや、適切な情報公開といったディスクロージャー、そして法令順守の運営といったコンプライアンスの3つの機能が判断の鍵。

詳しくは…



8月14日開催

「コミュニティビジネス」 セミナー及び個別相談

一般社団法人SINKa 代表理事

濱砂 清 氏

地域には行政や企業だけでは解決できないさまざまな課題が山積みです。

その地域の課題に対し、市民が主体的に地域資源を活かし、ビジネス手法で解決することをコミュニティビジネスと言います。

コミュニティビジネスでの成功事例などを交え、気付いた人から行動の連鎖を作る手法について学ぶセミナーを実施しました。

高齢者の生きがい探し、竹林・環境アート、コミュニティカフェでの起業を考えている方などが公開相談を交え、ワークショップ形式で学びました。

Pのポイント

- 課題解決によって描きたい社会の姿を具体的に伝えて多様な人を巻き込む。
- 単なるボランティアだけではなく、ビジネス手法で利益を産み三方良し(私、あなた、世の中)で、継続できる仕組みを作り、暮らしを向上させる。



詳しくは…



3月23日開催

日本一のクラウドファンディング キュレーターから学ぶ「実践」 セミナー及び個別相談

Readyfor(レディーフォー)株式会社

昨年アカデミーで開催したクラウドファンディング講座をさらに深め、実践に繋げるための、個別相談とセミナーを実施しました。

遠賀町で活躍する若手起業家をはじめとする3名の方が個別相談を受けました。

Pのポイント

- クラウドファンディングの種類には、寄付型、購入型、投資型がある。
- 的確なページを作るためには『成功状態』をイメージできなければならない。
- 募集ページは、次の3つのパターン。
① 実行者のストーリーを推し出す。
② プロジェクト内容を推し出す。
③ 商品・イベントをPRする。
- 長期的な応援者や仲間作りのためには、資金調達中の適切なコミュニケーションや資金調達後の想いが詰まったお金に応える真摯な態度が重要。



詳しくは…



第6回 遠賀町起業支援セミナー

5月14日開催

「空き家・空き室でお困りではありませんか？
民泊新法施行で稼げるチャンス到来！」

アットマークベンチャー株式会社 代表取締役社長
九州シェアリングエコノミー推進協会発起人
大津山 訓男氏

「外国人観光客の急増による宿泊施設不足」、「空き家・空き室問題」という現在の日本が抱える大きな問題の解決策として「民泊ビジネス」が注目されています。そこで「住宅民泊事業法(民泊新法)」の解説も併せて、いかに民泊を課題解決のビジネスに繋げていくかについてのセミナーを開催しました。



民泊事業を推進している大津山氏の周囲ですでに、民泊を始めている身近な人の事例に加え、糸島市の九州大学寮の民泊併用シェアハウス化や、伊万里市のUターン女子の農泊簡易宿から、福津市の古民家再生民泊事例まで、さまざまな事例を交えながら、最近の外国人旅行者に向けた民泊の利用法、資産評価の低い空き家再生のための資金調達法、低い稼働率でも成功した事例、そして、民泊に必要な魅力づくりなど、民泊にまつわるノウハウに加えて、地域コミュニティの組織化など身近な支援事例を幅広く教えていただきました。

大津山氏いわく、施設を作るだけでなく、地域の人々が民泊のためのコミュニティを創って助け合い、いかに法律や規制をクリアしていくかがとても重要とのことでした。

第7回 遠賀町起業支援セミナー

7月19日開催

「地元」を愛し奮闘する起業家へ贈る熱きエール！
『世界とつながる地元創生起業論』

有限会社一平(九州パンケーキ) 代表取締役
MUKASAHUB(ムカサハブ) 代表
村岡 浩司氏

九州から、全国、世界へと販路を拡大し、幅広くビジネスを展開されている先輩起業家村岡氏による地元重視の起業についてのセミナーを開催しました。

宮崎から世界に向けて「九州ブランド」を発信している村岡氏に、厳選した九州の材料だけで製品化したヒット商品「九州パンケーキ」が生まれたエピソードから、地元で経済の循環を生み出した地元創生起業、そして、地元再生のためのスペースや機能として各地の廃校を活用する取り組みまで幅広く語っていただきました。

地元志向で考え、地域に合わせて行動しつつ、戦略としては「Made in KYUSHU」といったグローバルな視点で組み立てること、また、従来の「商品を首都圏など地域の外に売る」というパターン化した手段ではなく、「地元での販売」を増やして地元の経済を循環させるという地元創

生起業のお話は、ここ遠賀でも起業する上で大きなヒントとなるものでした。



9月2日開催

第8回 遠賀町起業支援セミナー

私は創造的でありたい

米国アップル社が認めた83歳のアプリ開発者

若宮 正子氏

IT人材の不足が叫ばれる中、最高齢のデジタルクリエイターとして、世界中で注目を集めている若宮氏。定年退職後にパソコンと出会い、好奇心を原動力にプログラミングを習得、ゲームアプリを開発して、世界中に配信されるまでになり

ました。「人生100年時代構想会議」の有識者にも選ばれ、今やアクティブシニアのシンボル。その視点や人間にしかできない仕事「創造」について語っていただきました。

銀行員時代から「改善提案」を得意とし、「思いついたら、やる」「失敗しても気にしない」。精神で、行動してきた若宮氏。親の介護をしながら深めたIT技術は、若宮氏にとって、楽しい「創造」を実現するためのツール。維持費がかかることもなければ、盗まれることもない「永遠の原資」となり、「得意先」も自然に増えていくことになりました。

若宮氏が開発したアプリ「hinadan(ひな壇)」は、雛人形を正しい位置に置いていくゲーム。「そりや大変だったけど、まるで映画監督の気分だね。」と楽しそうに開発時を振り返ります。ゆったりとしたナレーションや音、シンプルな動き



に、これまでITと無縁だったハイシニアは大喜び。また、障がいのある子どもたちも楽しめるアプリとなりました。

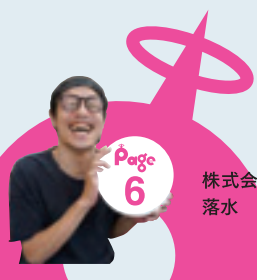
米国アップル社からの招待を受けてシリコンバレーを訪ねたり、中国の現状を視察したり。シニアとITについて、政治家に提言する機会もあれば、小学生に電子工作を教えることもある日々。その人柄もあって、幅広い年齢の事情通や専門家とつながった若宮氏の人生は、まさに著書「60歳をすぎると、人生はどんな面白くなります。」の通り、好循環で回っていきます。

ハイスピードで進化するデジタルの世界。現状を知る若宮氏が繰り返し話すのは、これからの時代、デジタルの世界の役割はさらにパーソナルに、生活に、現場に、密着したものになっていくとしても、そこにある「創造」、それこそが人間にし



かできない仕事だということ。そうであれば、人間力豊かなシニアはもちろん、女性やマイノリティとして、生活者としての視点が「活きるシーン」はまだまだあるのでは？」という気になってきます。

「2日24時間しかないから苦労しちゃうわ。」と明るくぼやく若宮氏。何かを始めると年齢はハンディにならないし、創造力さえあれば仕事は作り出せる、そう確信するセミナーとなりました。





第3回 視察交流バスツアー (八女市)

地域づくりの拠点うなぎの寝床×ヤマベリ、イングリブ・ラボ

視察交流バスツアーは、実際に先輩起業家が活躍する現地を視察し、講話を聴き学ぶことを目的として実施しています。

今回は、「地域資源を活かした起業」をテーマに、地域の資源を再発掘し、地域をつないでいるアンテナショップ「うなぎの寝床」と、「山」をひとつの資源に新たなアイデアを生み出し、里山の地域活性化に寄与している「ヤマベリング・ラボ」を視察しました。

『作り手』と『使い手』をつなぐ地域の文化商社 『うなぎの寝床』ができるまで

株式会社うなぎの寝床 代表取締役 白水 高広氏

「地域文化の継承のために、地域資源を顕在化させ、外部交流・交易を起こし、その価値を現代に問い続ける。」という行動理念のもと、地元、八女の地にしっかりと軸足を置きながら、県外や全国、海外にも及ぶ事業を展開しています。

着目した地域資源の一つが、**久留米くるとみがらす**です。その生地で作った細身のものへは、文化的で機能性に優れ、デザイン性の高いもので、今や若者に大変な人気を博しています。講話では、この商品の誕生ストーリーに始まり、「人が少ない地方で如何に販売していくか」という課題に対し、ターゲットや価格などを細かく分析し、情報発信

から販売方法までを緻密に計画することで克服したことや、地域の貴重な文化的資源を現代風にアレンジすることで、当初名乗っていた工芸品の「アンテナショップ」が、新たなビジネスを生み出す「地域の文化商社」になった経緯を話してくださいました。



「山で輪になり山辺の未来を

Co-creation!! yamaberinglab.」

森と人をコトでつなぐ moribio 代表 森 庄氏

家族と一緒に「お茶の里笠原に地域おこし協力隊として移住して5年、「よそ者」としての立場や役割を認識した上で、積極的に地元の方々を訪ね、地道に信頼関係を築いて、共に地域の魅力を引き出し、より素敵な場所になるよう活性化を進めています。

「ヤマベリング」とは、八女市黒木町笠原地区で、山(yama)×輪(ring)になる(bc)アクションつまり、輪になって山の豊かさ、暮らしか遊び、そして未来について語り合おうというものです。そこで大事なことは「よそ者」、「地元」、「行政」が共に考えることだと森氏は言います。

ここでイベントやエコツーリズムを企



画し、眠っている地域資源(ヒト・モノ・技術)を掘り起して、U・i・ターンした若者が新しい仕事を作る。それが「ヤマベリング・ラボ」が持つ拠点としての役割です。視察ではこの他にここで新たに始めている地域の活性化についても話してくださいました。





「想いを込めて造った車で

『起業』の夢に

寄り添う」



ヒートウェーブが製作したHカーゴ

株式会社ヒートウェーブ
代表取締役 七田 弘輝氏



移動販売車の車輛の仕入れから製作、許認可の取得まで行う株式会社ヒートウェーブ。「移動販売車で起業する」という人生の岐路に立つ人たちを応援しています。災害時には、被災地へ支援物資の輸送や食事支援などのボランティアもされた七田弘輝氏に、起業人としての血と汗と涙の「結晶」を語っていただきました。

「何がしたいのか」を自らに問いかける

子どもの頃から独立心が強く、起業以外の選択肢はなかった七田氏が、最初に起業したのは建築業。黙っていても元請けから仕事が次々入り、売上も好調でした。しかし、ある時ふいに「評価されることもなく、仕事をこなしていくだけの日々を、一体いつまで続けるのだろうか。」という気持ちになりました。「次は自分の好きな四輪駆動車に関わる仕事をする。」と決心し、1年間かけて会社を整理し、平成18年に四輪駆動車の販売会社を立ち上げました。しかし、2年後のリーマンショックで売り上げが激減、経営危機に陥りました。

その時、移動販売車の出店を取りまわっている人と出会い、「自分でも移動販売

車を作ることができないのではないかと製作したところ、驚くことに、高倉健主演の映画『あなたへ』に大抜擢されました。そして、探し求めていた物件を遠賀町鬼津に見つけ、平成24年に移転、翌年11月には企画・製作・販売を主な業務とする現在のヒートウェーブが誕生しました。

お客様のためにも道を切り拓く

「仕入れから改造まで、すべて独学です。移動販売車で起業する人が、きちんと生計を立て、利益も出し、固定店舗を持つという夢に最短で近づくように、そして、移動販売車を手放す時にも、より高値で売却できるように製造しています。」

建築業の経験を活かし、量販の建築資材を使うなどの経費削減を図ったことでオリジナルのデザイン性も高まりました。

その過程には、許認可の壁もありました。建築資材を車に使用する際の「前例がなく難しい。」という陸運局の回答にも屈せず、何度も通い、冷静でありながら情熱を持って丁寧に説明し、許可を得て実現していききました。

自分と向き合う

七田氏が大切にしているのは、自分と向き合うための時間。喧騒から離れ、独り星空



を見上げながら「俺、何がしたいん?」「何であんなことしたん?」と自問自答を繰り返します。

「さまざまな困難もあるけれど、解決できるかどうかは、すべて自分次第。経営者として、そこを自覚できるかどうか。自分自身と向き合い、情けない自分、弱い自分もすべて認めたくて、自分自身でどのように改善していくかが事業継続のポイント。」と語ります。

移動販売車で笑顔をつなげる

現在ヒートウェーブでは、年間約30台のキッチンカーを製作しています。「将来は、全国どここの祭りに行っても、うちの移動販売車があり、売っている人、買っている人、みんなに笑顔の輪が広がっている。そこまでになりたいね」と社員皆で話しています。引退後は全国の祭りを回るのが楽しみだそうです。」と七田氏は笑顔で話します。

最近では移動販売車にとどまらず演奏用のソーラー発電搭載車も造るなど、さまざまなニーズに応えた車も手掛けています。「お客様の夢に寄り添って良い車を造り、応援できるのがやりがいです。」と七田氏のプリズムがお客様の夢を七色に照らしています。



3月26日開催

PIPIT 1周年大交流会

PIPITのさまざまなイベントにご協力・ご参加いただいた皆さまに感謝をお伝えするとともに、PIPITのこれまでの1年と、これからの1年についてのご意見ご感想を聞かせていただく交流会を開催しました。



詳しくは...



4月25日開催

第13回 PIPIT交流会

映画『パワー・トゥ・ザ・ピープル』 上映会

監督：サビーヌ・ルッベ・バッカー
配給：ユナイテッドピープル(オランダ/2012年/49分)
共催：cafe cinéma

デンマークにあるサムソ島で100%クリーンエネルギー化を10年かけて実現し、2008年にTIME誌の「環境ヒーロー」に選出されたソーレン・ハーマンセンの取り組みや、オランダで再生可能エネルギー普及に取り組む活動家などを紹介するドキュメンタリー映画を見て、経済もエネルギーもそれぞれの地域で循環させることで、持続可能な社会を構築できるという事例を学びました。上映後には、参加者で意見交換を行いました。



(C)映画『パワー・トゥ・ザ・ピープル』

詳しくは...



2月14日開催

第11回 PIPIT交流会

遠賀町「ビジネスプラン・夢アイデアコンテスト」プレゼン大会

- 有松 位 氏 (株式会社 そったく 代表取締役)
- 中村 佐知子 氏
- 河野 祥大 氏 福井 雄真 氏
堂元 敦光 氏
(神奈川県 聖光学院中学校高等学校アイデアプレゼン同好会)
- 山縣 鉄平 氏 (ヤマガタデジタルフォロー 代表)
- 渡邊 貴栄 氏

ビジネスプランコンテスト応募者にビジネスプランを発表していただきました。地域の問題、自分のちょっとした発見や得意なことを具現化してプランを作成し、発表して、聞いた方から意見をいただくことで、企画をさらにブラッシュアップできました。



詳しくは...



3月14日開催

第12回 PIPIT交流会

今こそアクティブシニア！ ～第2の人生「起業」という選択～

- 徳王 昭子 氏 柴田 雅子 氏
柴田 ヤス子 氏
- 焼山 和憲 氏
(遠賀野珈琲 まめきち、新・古美術わらし 店主)
- 中溝 良則 氏 (Jazz Cafe ドラム館 店主)

遠賀町で起業をされたアクティブシニアのお2人とビジネスプランコンテスト受賞者をお招きしました。アクティブシニアの起業には「生きがい」、「好きなこと」、「地域に貢献する」という視点が大事なことでありとお話いただきました。



詳しくは...



交流会レポート

Exchange meeting report

起業家や起業を希望している方などが人と人のネットワーク作り、情報交換を行う場として、毎月1回交流会を開催しています。交流会では、数名の方にビジネスプランを発表していただき、その後、意見交換・情報交換を行います。



7月25日開催

第16回 PIPIT交流会

福岡から全国へ、全国から福岡へ。 優れたデザインを発信！ ～福岡デザインアワード～

- 新城 孝明 氏
(天佑株式会社 CEO 就労継続支援A型事業所ディアスポラ 代表)
- 石生 学 氏
(株式会社マイサ 取締役常務 デザイナー)
- 三小田 未季 氏
(福岡県産業デザイン協議会 事務局/福岡県 商工部 新事業支援課)

デザインという視点でビジネスの新たな価値を創造する3人にお話をうかがいました。発想の転換がビジネスの飛躍につながった事例や、デザインの力を用いて、捨てられてしまうモノや使わなくなったモノを素材にし、デザイン性の高い、より良い商品に作り替える「アップサイクル」というビジネスの手法も学びました。



詳しくは...



5月30日開催

第14回 PIPIT交流会

(移住+定住+リノベーション+シェアハウス+コミュニティー)×おんが ∞ (無限大)

- 須賀 大介 氏
(株式会社スマートデザインアソシエーション 代表取締役)
- 大堂 良太 氏
(合同会社よかごつ《通称:九州熱風法人よかごつ》 代表)

遊休不動産を活用した拠点づくりや大学生と地域人のコミュニティー創生などを事業として展開しているお2人に、起業を成功させるには、「ぶれない軸を持つ」、「仲間を頼る発想を持つ」、「現場の声を聴く」ことが大事であることなどを教えていただきました。



詳しくは...



8月31日開催

第17回 PIPIT交流会

オーガニックの食と農業を ライフワークとする女性起業家に学ぶ

- 金高 愛 氏
(株式会社 La CUCINA Japan(ラクチーナジャパン)代表)
- 田中 美穂 氏
(Go Organics Japan 代表/オンユアサイドジャパン合同会社 代表)

食に関する事業をされている女性起業家お2人をお招きし、事業のコンセプトやこだわり、オーガニックとの出会い、そして食や環境に対する熱い想いをお話いただきました。お2人が手掛けていらっしゃる商品の試食も行い、熱い意見交換が行われました。



詳しくは...



6月27日開催

第15回 PIPIT交流会

空間デザイン・暮らしのデザイン 起業家に学ぶ

- 吉原 勝己 氏
(吉原住宅有限会社/株式会社スペースRデザイン 代表取締役)
- 筒井 貴志 氏・筒井 美由紀 氏
(Have Some Fun!)

今までにない発想により新たな価値感を創造している2組から、「人と人とのつながりを高める空間や商品のデザイン」、「商品にストーリー性を持たせることの大切さ」、「コミュニティデザインにより社会的課題を解決すること」などを学びました。



詳しくは...



和の膳 繁升

しげます
松尾 繁樹さん



「地元で恩返しをしたい」という
気持ちで遠賀に開店

幼少期に見た桂むきをする板前さんの姿に憧れ、それ以来「板前になる」と決めた松尾さん。北九州等での20年の修業を経て、「店を構えるなら大好きな遠賀町で」と平成27年5月に遠賀町松の本に開業。料理はもちろん日本酒にもこだわった店づくりをしています。

「いろいろなお客様に可愛がっていただけて嬉しいですね。将来は、地元で働くさまざまな業種の同級生と一緒に、遠賀の観光拠点になるような面白い事業などを立ち上げていきたいです。」と語っていただきました。

就労継続支援事業所 ポールスタ

水上 菜依子さん
水上 竜馬さん



遠賀のPRや、地域の発展にも
貢献していきたいです

障がい者施設で働いていた菜依子さんは「障がい者の方々にとっても、職員にとっても、もっと楽しく働けるみんなの居場所を作りたい。」という想いを抱き、家族や出資してくれた仲間への応援もあって、平成29年5月に夫の竜馬さんと共に起業しました。収益の柱であるポスティングの他、フェルト小物なども製作し、販売しています。

「出会った方々が応援してくださり、とても有り難いです。今後は利用者さんを増やして地域のために活動していきたいです。」とのことでした。

遠賀町起業支援施設PIPIT(ピピット)ってどんなところ？

今までのキャリアを活かして起業したい、子育てをしながらもビジネスにチャレンジしたい、まずは週末だけの起業を考えているなど… PIPITはそんなあなたをバックアップいたします。様々な事業や交流の機会などが、あなたのターニングポイントとなるかもしれません。お気軽にお越しください。

<h4>交流会 (毎月)</h4> <p>毎月異なるテーマで、先輩起業家のお話を聞いた後、参加者同士の交流・情報交換ができます。</p>	<h4>セミナー (年5回)</h4> <p>第一線で活躍されている先輩起業家を講師に迎え、社会の動向や、起業について講話を頂きます。</p>	<h4>アカデミー</h4> <p>テーマを設け、全4回の講義を行います。本年度は、12月に開催を予定しています。</p>	<h4>ビジネスプラン コンテスト</h4> <p>地域資源活用や地域活性化につながるビジネスプランなどのコンテストです。 ※本年度の募集は締め切りしました。</p>	<h4>視察交流ツアー</h4> <p>実際に先輩起業家が活躍する現地を視察し、講話を聴き学ぶツアーです。次回は12月に実施予定です。</p>
<h4>専門家による 個別起業相談</h4> <p>税理士や行政書士などの専門家に個別に相談をすることができます。</p>	<h4>起業相談</h4> <p>毎週水曜日・木曜日にPIPITのアドバイザーによる起業相談を実施しています。</p>	<h4>情報発信</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・機関誌『PIS』 ・Facebook ・メールマガジン ・Instagram ・ホームページ 	<h2>Pオフィス</h2> <p>(JR遠賀川駅から徒歩1分のシェアオフィス)</p> <h3>入居者募集中</h3> <p>シェアオフィス：1席・月額4,000円 ※24時間ご利用になれます</p> 	

※無料で使える交流スペース・ミーティングルームもあります。PIPITへご相談ください！



2018. September 第3号
あなたのカナエルをカタチに

□発行所 遠賀町起業支援施設PIPIT
〒811-4307
福岡県遠賀郡遠賀町遠賀川一丁目6番5号

□発行人 遠賀町

【メール】 info@pipit-onga.jp
【HP】 https://pipit-onga.jp/



ホームページ



Facebook



Instagram



メールマガジン